

第10回
ケアポート・田谷夏祭り

スツンスツンドーンドン

夏祭り実行委員長:橘 和豊

立秋とは名ばかりの暑さ続きでございますが、皆様にはますますご健勝のことと存じ、お喜び申し上げます。

本年も夏の恒例行事となっております夏祭りが開催されました。例年以上の猛暑の中、御家族の皆様やボランティアの方々にご協力を頂き、例年以上に盛り上げる事ができました。

開催に当たり、毎年 4 月末位から実行委員会を開き準備を進めています。会議の中で、今年は



何か新しい事を行い、例年以上に夏祭りを盛り上げたいとの意見がありました。御利用者に喜んで頂け、なおかつ夏祭りに合うイベントとの観点から、和太鼓演奏を行うことに決めました。そんな中、職員に太鼓の心得がある者がおりました。御覧頂いた方はお分かりになるかと思いますが、ケアポート・田谷一の大男、理学療法士の坂本です。彼が中心となり、他男性職員4名で和太鼓の演奏を披露する事になりました。他4名は太鼓を叩いた事など皆無であり、叩けばなんとなく

形になるのでは？雰囲気を出せば盛り上がるのではないかと甘い考えを持っておりました。しかしその様な考えは、経験者である彼には通じませんでした。本番を目指し、彼を中心とした猛練習のスタートです。和太鼓はありがたい事に、千秀小学校からお借りする事が出来ました。業務後に繰り返される練習。太鼓を叩くときの足の位置や開く角度、バチの振り上げ方や降ろし方、基本となる”スツンスツンドーンドン”というリズムを体に叩き込みました。

角度や手の上げ方に問題があると、彼からカツが入ります。久しぶりに、学生時代の部活の練習を思い出しました。太鼓を使った本格的な練習に入ると、彼の本気度は今年の夏の気温の様にますます上がっていきました。勤務の都合上全員揃わない事もありましたが、揃ったメンバーで練習を繰り返し、手に豆を作りながら少しずつ形にする事ができました。

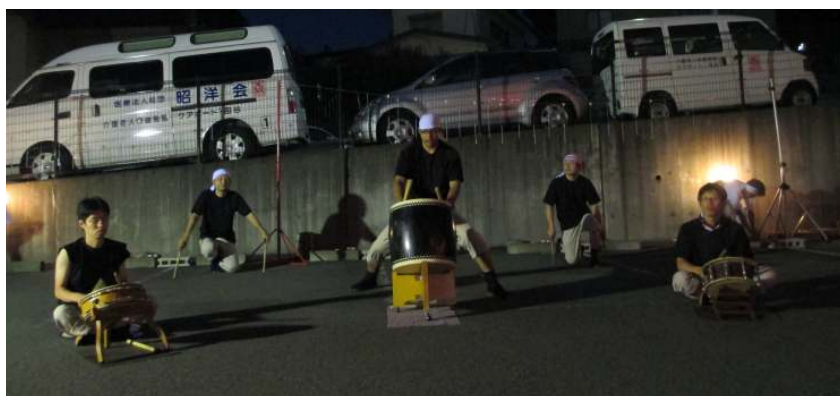


当日は緊張し、練習通りに出来ない部分もありましたが、皆様の応援もあり無事に演奏を終える事ができました。御利用者の事を思い始めた事です、演奏した私達にとっても良い経験になりました。

また今年の新たな試みとしてもう一つ、屋台メニューにお好み焼きとソフトクリームを加えた事が挙げられます。屋台メニューは、例年の売れ行きを参考にしながら種類や食数を決めるのですが、毎年同じものが売れる訳ではなく、予想困難な部分が悩みです。しかし今年は全てにおいて好評であり、特にソフトクリームは、毎年の定番メニューとする事に疑う余地がない程の売れ行きでした。屋台に関しても大成功であったと思います。

今年で 10 回目となるケアポート・田谷の夏祭り。前年より良いお祭りを目指しながら、少しでも新しいものを提供し、御利用者の笑顔に繋げていきたいと思っております。

今後も御利用者・御家族の皆様が、ケアポート・田谷に入所して良かったと感じて頂ける施設を目指し、職員一同精進して参ります。これからも宜しくお願い致します。



残暑厳しく、暑い日が続いていますね。今年も夏を彩る一大イベント”ケアポート・田谷夏祭り”を8月4日に実施しました。今年は職員の演物である和太鼓もあり、これまでで最も盛り上がったお祭りとなりました。写真と共に当日の雰囲気をお届けしたいと思いますので、是非ご覧になってください。

8月4日に行われました夏祭りは、皆様の協力の下、大成功に終わりました。デイケア・2F・3Fの御利用者とその家族や職員が一堂に介する数少ない行事でもあり、施設全体に生き生きとしたパワーが感じられました。職員は半被や自前の浴衣や甚平に衣替えし、夏祭りをより一層盛り上げる姿で参加しました。御利用者はスイカ割りや、ボランティアの方々によるカレー・かき氷など

の出店を楽しんでおられました。いつもとは違う様相に、御利用者も思わず笑みをこぼしていました。また、職員による太鼓の演奏も行われ、迫力ある響きに胸が高まったことだと思います。最後に色とりどりの花火が灯さ



れ、夏を思う存分満喫できる一幕でした。このような素晴らしい行事になりましたことは本当に嬉しく思います。来年は本年度以上に笑顔溢れる夏祭りをするべく努力していきます。ありがとうございました。

2階介護:下枝



今年も天候に恵まれ、無事に夏祭りを行うことが出来ました。施設に向かう車内では、「何があるんだろう」「何を食べようか」と期待されていました。到着時にはすでに沢山の人が賑わっており、皆様の目がキラキラしています。



今年も全国的に記録的な猛暑となりました。そんな中、夏祭りが行なわれましたが、幸いにも比較的に過ぎやすい中で開催する事が出来ました。今年も様々な屋台や展示コーナー、ゲームコーナーなどを設け御利用者や御家族に喜んで頂く事が出来ました。また、この日の為に練習を積み重ねてきた職員有志による和太鼓も盛り上がり、皆様に喜んで頂く事が出来ました。夏祭りの締めくくりでもある花火も雨に降られる事なく行なう事が出来ました。また、沢山のボランティアの方々、御利用者や御家族、職員家族など多くの方々に支えて頂き無事に開催する事が出来ました。



これからも皆様に喜んで頂けるよう頑張っていきたいと思います。

3階介護:羽石

お祭り会場が見える会議室で、食べ物を頂いたり、記念写真を撮ったり、さらに今年は男性職員による和太鼓の演奏がありました。

和太鼓の演奏を目の前で見る事ができ、太鼓の迫力に圧倒されながら「すばらしい！！」「見れて良かった」「すご





かったね。かつこよかったね」と、とても感動されていて良かったです。帰りの車内では、「お腹いっぱい食べたよ」「楽しかった」等の感想が聞けて、とても嬉しく思います。たくさんのご参加に感謝致します。

通所リハ介護：瓜生



今年も参加しました 横浜市介護老人保健施設研究大会

今年で 11 回目となる介護老人保健施設研究大会が、7 月 6 日にパシフィコ横浜で開かれました。当施設も技術・知識の研鑽を目的に、発表を行なっております。今年も2つの研究発表を行いましたので、発表を行った2つのグループに感想を述べてもらいます。

○発表タイトル「自己決定を促す試みをしよう」

2F 介護 加藤 中里 中山

平成 25 年7月6日に横浜市介護老人保健施設研究大会が行われました。何十ヶ所もの施設が毎年参加されています。今年ケアポート田谷では、通所と2階が発表することになりました。私自身、参加するのは初めての事で不安もありましたが、他の職員と協力し合い、無事に終わることができました。今後の課題もたくさんありますが、御利用者とまた職員同士も、とても密な関係が築けたと実感しています。とても貴重な経験になりました。

今後もよりよい施設になるよう頑張っていきたいと思います。

○発表タイトル「活気あるデイケアを目指して」

通所リハ 岩谷 酒井 平野

デイケアでは昨年に引き続き、今年も研究大会に参加させて頂きました。「御利用者同志の交流を深め、活気のあるデイケアにしていこう」というテーマでこの1年間取り組んできたことを発表しました。緊張と不安の中、何とか無事に発表を行う事ができ、その後の質疑応答も活発なものとなり良かったと思います。また、他の施設の色々な取り組みの発表から気がついたり学んだりしたことも多々ありました。

今後もこの大会に参加し得たことを活かして、御利用者にとってよりよいデイケアにしていくなために工夫や努力を続けていきたいと思います。